

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	中川地域ケアプラザ ルークスなかがわ		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 3日 ～ 2025年 12月 12日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年 11月 3日 ～ 2025年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	駅に隣接し、利便性が良い。周囲に緑道や公園もあり、散歩など屋外の活動も実施しやすい。環境設備が整っている。	デイルームが広く、部屋数もあり、広いスペースが確保されている。集団活動を行う部屋、身体を動かす遊具がある部屋、マットやイスがあり休憩できる部屋など、目的別に部屋を分けて利用できるようにしている。また、多目的トイレや児童用トイレなどもあり、環境設備が整っている。また、近隣公園への散歩を活動に取り入れている。	身体を動かす遊具の内容を定期的に入れ替えたり、設定を変更したりして、飽きずに過ごせるよう工夫していく。夏季にはテラスを利用して、水遊びをしたり、天候が良いときには散歩や買い物に出るなど屋外での活動も充実させていく。
2	個々の特性に即した丁寧な支援を行っている。	個々の特性に合わせた対応を実施している。支援計画に沿った支援を実施するために、活動の取り組みの振り返りや受け入れ前のミーティングの中で、お子さんの様子や配慮事項を共有している。	障害特性の理解を深めるために研修を実施する。一貫した対応が実施できるよう、日々のミーティングや会議、利用記録などを活用して、スタッフ間で対応を共有する。
3	プログラム内容が充実している。音楽療法が充実している。	週ごとにプログラムを設定し、週に複数回利用されるお子さんには、個々に合わせた内容を提供し、楽しめるよう工夫している。一人ひとりの発達段階・特性に考慮した個別療育プログラムを提供している。また、日本音楽療法学会の資格を有した音楽療法士が個々の課題に沿ったプログラムを検討し、音楽療法を実施している。	定期的にカンファレンスを行い、5領域を意識した支援内容についての検討、職員間での共有を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少なく、ケアプラザの中に放課後等サービスの事業所があることがあまり知られていない。	慣れない場所や慣れない人との交流が得意ではないタイプの利用児が多いことや、お子さん方の特性を理解されている保護者の方々も直接的な交流を希望されないことが多いことから、積極的に交流の場を設定することは行っていないため。	直接的な交流は増やさずとも、建物の窓に貼り紙をして、外に向けて放課後等サービスの事業所があることを周囲に知ってもらう工夫が必要。また、SNSを利用して、定期的に活動内容を発信して、取り組みの内容を知ってもらう工夫が必要。
2			
3			